



でらボラNAGOYA通信

2017年 12月号

ようこそ 名古屋別院へ



in 東別院
名古屋と
福島と
名古屋を
むすぶ
子ども会

放射能の不安の中で生活する子どもたち、
その家族と名古屋でともに過ごしたいと願い、

真宗大谷派名古屋別院、教区に縁のある者が中心となり2011年に発足しました。

決定
7回目の
保養事業

12月22日(金)

28日(水)

15家族 50名の方

いらっしせい〜

「福島と名古屋をむすぶ子ども会 in 東別院」実行委員会

でんわ 052 (321) 9201 / ファクス 052 (321) 3184

〒460-0016 名古屋市中区橋 2-8-55 真宗大谷派名古屋別院

eメール m-miyata@ohigashi.net (宮田) / フェイスブック <https://www.facebook.com/fukunako/>

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

11月の活動支援金は **21,843** 円です。たくさんのご協力をありがとうございました。



福島北幹線仮設



紙芝居



鶏白湯鍋、野菜を食べる鍋

いつも、いつも、
たくさんのご支援
いただき、ありがとう
ございます。



今年も福島、宮城、熊本、各地へ炊き出しなどで、訪問させて頂きました。又「九州北部豪雨のための義援金」も送金させて頂きました。皆様様の「志」有難く、感謝申し上げます。



もうすぐ

ひめくり!

いのちのよびごえ

カレンダー できます!

でらボラ
ひめくりカレンダー
イラスト入り
執筆中!



1日
1冊の
同世
にのみ

カレンダーには「でらボラ会員」自らが感銘を受け、その身に聞き受けた「いのちのよびごえ」が毎日掲載されています。被災された方とあなたをつなぐカレンダーです。お買い求めいただければ、一部無料で現地へ配布できる仕組みです。なにとぞご協力をお願い申し上げます。(予約受付中です。)



「生かされて生きる」本稱寺住職・佐々木隆道氏
2011年3月11日、東日本大震災。岩手県陸前高田市の本稱寺は、本堂が流され、お名を起えるご門徒さんが犠牲になるほど、大きな被害を受けました。ご住職の佐々木隆道さんも、ご両親、奥様、妹、姪を亡くされました。今も仮本堂で報恩講を勤めるほど、復興への長い道のりを歩みながら、一生懸命に本堂再建に取り組んでいます。佐々木隆道さんのお姿から、私自身生かされて、生きるということを考えさせられます。

担当 佐藤 其美



でらボラ NAGOYA 会員 募集中!

【入会資格】不要です

【会費】不要です(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com

